

現地検討会の開催について

(再造林の推進に向けたシカ被害対策)

島根県内におけるシカの生息密度は他県より低い状況にありますが、植栽木の食害や捕獲個体数は増加傾向にあり、再造林への影響が懸念されています。

本検討会は、再造林の推進に向け、

- ①効果的なシカ捕獲方法
- ②低コストで設置できる獣害防護柵
- ③獣害防護柵の省力的な見回り法(ドローン飛行による点検)

等について、一体的に情報提供を行い、シカ被害対策の促進を図ることを目的に開催します。



ニホンジカ



小林式誘引捕獲法



アニマルネット

獣害防護柵

日時: 令和7年10月30日(木) 10時30分から15時00分
(少雨決行)

場所: 午前の部 奥出雲町立 横田コミュニティセンター
(島根県仁多郡奥出雲町横田1037)
午後の部 船通山国有林
(島根県仁多郡奥出雲町竹崎)

受付 10時00分から10時30分

(横田コミュニティセンター 技術研修室(2階))

対象 地方自治体、林業事業体等
(定員 30名程度)

主催 林野庁 近畿中国森林管理局 島根森林管理署

【日程】

令和7年10月30日(木)

10時00分～10時30分 (午前の部)	受付(奥出雲町立 横田コミュニティセンター 技術研修室(2階))
10時30分～11時30分	屋内会場(横田コミュニティセンター 技術研修室) ・開会あいさつ ・島根県内のシカ生息及び被害、捕獲等(島根県) ・局管内での国有林のシカ被害対策の取組(捕獲・防護) ・質疑応答等
11時30分～13時00分 (午後の部)	昼食、休憩、現地移動(船通山国有林へ)
13時00分～15時00分	船通山国有林 ・小林式誘引捕獲法の実演、わな稼働(オリモ式、ベアウオーク等) 徒歩移動(植栽箇所へ) 船通山国有林 1001よ林小班 ・自動撮影カメラによるシカ生息モニタリング ・低コストの獣害防護柵設置(アニマルネットの活用) ・獣害防護柵の維持管理(ドローン飛行による点検) ・獣害防護柵の点検業務 ・意見交換等 ・閉会(近畿中国森林管理局)
15時00分	現地解散

【留意点】

- ・現地(船通山国有林)への車両移動につきまして、各機関でご対応願います
- ・現地での車両駐車は、林道上となります。砂利道走行はありませんが、幅員は狭い箇所があります
- ・林内に入りますので、ヘルメット、長靴、手袋等を各自でご準備いただき、安全な服装・装備でご参ります。また、当日の天候により雨具等の用意をお願いします
- ・悪天候等により中止する場合は、10月29日(水)15時までに連絡します

【受付・屋内会場及び現地検討会への移動】

受付及び屋内会場
(● 横田コミュニティセンター)

屋内会場から現地(船通山
国有林) 約25分(約12km)

現地(船通山国有林)



申込締め切り 令和7年10月15日(水)まで (定員になり次第締め切り)

参加申込書 別紙参加申込書に記載して頂き、メールにより提出してください。

申込/問合せ先 林野庁近畿中国森林管理局 島根森林管理署 地域林政調整官

TEL 050-3160-6130 メール: Kc_shimane@maff.go.jp